

# 岩中だより

令和元年度 11月号  
岩国市立岩国中学校発行  
TEL 43-4400  
FAX 43-3395

小中一貫教育目標

「志高く、たくましく生き抜く「いわくにっ子」の育成

学校教育目標

「ふるさとに誇りをもち、未来を拓く『力と心』を身につけ、共によりよく生きようとする生徒の育成」

## 合唱の歌声が響く

10月25日（金）午後、26日（土）に「進輝（しんき）～同心協力～」をテーマに文化祭を開催しました。生徒会を中心に全体の企画を立てて準備を進め、英語暗唱や理科研究発表、美術作品の展示など、日頃の学習の成果とともにステージ発表や展示を行いました。また、合唱コンクールでは、素晴らしい歌声を披露してくれました。

クラスで協力し、それを全校生徒の前で披露する機会は1年間の様々な行事の中でも合唱コンクールしかありません。3年生にとっては最後の合唱コンクール。3年間の集大成として、クラス一丸となって最高の歌声を聴かせてくれました。1年生は初めての経験に戸惑いながらも、時に励まし合い、悩みながら練習に取り組んでいました。

学級担任にとっても、少しでもよい合唱をつくり上げたいという強い思いがあります。それは一つの目標に向けてクラスが団結して努力するという経験がとても大切だからです。学級はたまたま同じ校区内に住んでいる同じ学年の生徒がたまたま一つの学級で生活する。言ってみれば他人同士です。その他人だった生徒たちが、合唱をつくり上げるとい目標に向けて協力・努力することで、ただの他人にはない絆でつながっていくのです。そしてそこから岩国中学校への愛校心や所属感、ひいては地域への愛情にもつながってほしいと願っています。



合唱コンクールに限らず、その他の活動についても作品の展示やステージ発表を通して創作の喜びを知るとともに、自身の特性に気付いたり、将来の職業に結びついたりすることがあります。小・中・高等学校では、「キャリア教育」に取り組んでいます。

「キャリア教育」とは、「子どもたちの職業観・勤労観を育む教育」で、教室での学習だけでなく体験活動も重要です。文化祭やその準備の体験が将来の職業観・勤労観につながっていくのです。だからこそ、本校教員も生徒たちの文化祭への意識を高め、協力することの大切さや何かに一生懸命取り組むことの大切さを学んでほしいと願っているのです。もちろん、これらの体験は教員が全てお膳立てして、その流れに沿って言われるままに活動すればよいというものではなく、生徒が創り上げることが大切になります。とは言っても、中学生の発達段階に応じた教員の支援や準備が必要になりますし、生徒が創り上げる文化祭には時間がかかりますので、不十分に感じられることがあるかもしれません。しかし、その中でも生徒が何を頑張り、創り上げたかを感じていただきたいと思えます。

今回、10月5日、6日に開催の秋季県体に出場した運動部活動の顧問は10月12日、13日には岩国地区の新人大会、加えて5教科の教員は10月18日、21日の2学期中間テストのテスト作成、採点をしながら文化祭の準備を進めました。マスコミでも言われるように非常に多忙な教育現場ではありますが、教職員は子どもたちの成長のために全力で職務に当たっています。これからもご支援よろしくお願いたします。

